

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">新しい社会 歴史</h2>	2 東 書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各章の導入ページに、二次元コードの動画やイラスト付き年表、小学校で習った言葉など章全体の流れをつかめる資料が豊富にあり、学習内容の見通しが持てる工夫がある。 ・生徒が主体的に学習に取り組めるように人物コラムを豊富に掲載し、人物を中心とした小学校からの歴史学習との接続が図られている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・各章のふり返しページに、ウェビングを活用したまとめ方が例示や説明付きで記載されており、思考を深めていく工夫がなされている。 ・学習のさまざまな場面で対話的な活動を促す「みんなでチャレンジ」を設け、対話から他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整していくことで、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう工夫されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各単元の導入部で単元全体を貫く「探究課題」を立て、1時間ごとの学習課題と探究課題をつなぐ、「探究のステップ」を設けることで、段階を踏んでスムーズに探究課題を解決できる構成になっている。 ・持続可能な社会の実現に向けて、様々な取り組みから考えるきっかけとなるコラム「未来にアクセス」が設けられている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・他教科との関連をつかむために、二次元コードから関連のある他教科のページにアクセスできるようになっている。 ・学習のさまざまな場面で対話的な活動を促す「みんなでチャレンジ」を設け対話的、活動的に学びを深められるよう工夫がなされている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・見開きごとに1つ二次元コードがつけられている。教科書の資料の拡大、地図の比較、用語解説など、多彩なコンテンツを掲載し、個々の学びをサポートする工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文はUDフォントを使用し、資料掲載部分に薄い色を付けることで本文との区別が視覚的に分かりやすくなっている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	<b>中学社会 歴史 未来をひらく</b>		17 教 出
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・見開きごとに設定されるタイトルに、学習内容を象徴するような言葉が用いられ、生徒が興味関心を持ち、学びたくなる工夫がなされている。 ・章の学習を見通す導入ページ「学習のはじめに」では、当時の人々の暮らしの様子が見える資料を中心に構成し、資料の読み解きの活動を通じて、「章の問い」や章の学習の見通しにつながっていくよう工夫がなされている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「歴史の技・地図を読み解こう」という発問と二次元コードから閲覧できる動画を使うことで生徒の思考を広げる工夫がされている。 ・各章にいくつか設置されたコラム（歴史を探ろう）には、資料を読み取り、学び合う視点が設定されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・見開きには、本時の学習をまとめる「確認」と「表現」が設けられており、学習課題に対し、本時の学習を振り返り、基礎・基本の確実な定着を図れるよう工夫がなされている。 ・章末の「HOP・STEP・JUMP」では学習内容のまとめを段階的に整理でき、最終的に歴史的な見方・考え方を深める問いが設定されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・現代社会の課題としてSDGsの目標と、教材で取り上げている内容との関連が意識されている。 ・特設ページ「歴史を探ろう」では、本時ページには登場しない人物の視点など、新たな視点から学習を深めることができ、全体で13テーマ設けている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・各章の導入ページに小学校で学んだ人物のイラストやその章で登場する場所が地図上で示され、生徒の学ぶ見通しや意欲につなげる工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文等にはUDフォントが使用され、巻末には「人名さくいん」が設けられ、人物を中心として歴史を振り返ることが出来るように工夫されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	<b>社会科 中学生の歴史</b>	46 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">帝 国</span>
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各章の導入ページに小学校で学んだ人物と主な出来事が記載され、象徴的なイラストからどんな時代を学ぶのか予想を立てたりできるように工夫されている。 ・見開きごとの資料に、登場キャラクターによる吹き出しコメントが付けられ、学習の手がかりを示している。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・章のまとめにある「学習を振り返ろう」では、これまでの学習を活用して、各時代の特色を自分の言葉で考察することで歴史的な見方・考え方を働かせ、思考を深める工夫がされている。 ・章扉「タイムトラベル」を設け、イラストで時代のイメージを視覚的に捉えられるようにし、その時代の特色をつかむための着眼点や学習活動を設けている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・見開きのまとめにある「確認」では、知識の定着を図ることができ、「説明しよう」では、1単位時間の学習をまとめ、習得した知識を活用し表現できるよう工夫されている。 ・章末には、「現在とのつながりを考えよう」「SDGsとのつながりを考えよう」という発問があり、学んだことを今後の生活につなげていくような工夫がある。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・地理・公民的分野だけでなく他教科にもつながるSDGsの視点や現代社会につながるテーマを様々な時代、様々な題材で取り上げている。 ・未来の社会をつくる取組を紹介するコラム「未来に向けて」を設け、他分野及び地図帳との連携を図り、学習が深まるよう工夫がなされている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・独自のイラストを多く使用しており、それが当時の様子イメージをつかむことにつながるよう工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文等にはUDフォントが使用されている。難解な用語は地図や関連資料と同様にその用語が登場したページの左右に解説が記載されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">中学歴史 日本と世界</h2>	81 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">山 川</span>
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各章の導入部では、学習内容に興味をわくような視覚的資料（写真）や学習内容がイメージできる年表を見開きのページに掲載し、生徒が各章の学習の見通しがもてるよう工夫されている。 ・各単元の題名の下に、学習のめあてとなる「学習課題」を1～2つ掲示しており、生徒に考えてほしい課題と課題を深めるための視覚的な資料が提示されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・単元ごとに「ステップアップ」という、1単位時間で学習した内容を自分の言葉でまとめるような呼びかけがある。 ・特設ページ「歴史を考えよう」「歴史へのアプローチ」では、様々な資料を提示し、歴史をいろいろな角度から考察し、学習を深める機会を設定している。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各章の章末に「まとめ」のページが設定され、授業で学んだことを整理できるよう項目が設定されており、それによって自分の言葉でまとめられる工夫がされている。 ・「地域からのアプローチ」というページでは、その章で舞台となっている地域について特集が組まれており、地理的な分野・知識等様々な視点から歴史を考える機会を設定している。 ・因果関係を重視した記述となっており、深い理解を出来るように工夫されている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・写真やグラフについて、生徒に考えさせたい課題が示されており、情報を活用して生徒同士が自分の考えをまとめたり、生徒同士が対話をしたりするなどの活動につながるよう工夫されている。 ・「歴史へのアプローチ」では、時代を通した視点・グローバルな視点でみたテーマなど10のテーマを取り上げ、それぞれ多角的・多面的に考察する力を養うことができるようにしている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・博物館や図書館の活用の仕方、地図や資料を読み取る際のポイント、現地で調査等を行う際の注意点等が示されており、学ぶ意欲の向上につながる工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・難解な語句や特殊な読み方だけでなく、様々な生徒が読めるよう、約半分の漢字に振り仮名がついている。また、資料説明が簡潔に記載されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	中学社会 歴史的分野		116 日 文
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各編の導入部では、学習内容に興味がわく視覚的資料（写真）や学習内容がイメージできる年表を見開きのページに掲載し、生徒に各章の学習の見通しがもてるよう工夫されている。 ・各単元の題名の下に、学習のめあてとなる「学習課題」を1つ掲示しており、それに関連した視覚的な資料が提示されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・各単元の題名の下に、学習のめあてとなる「学習課題」とその課題に取り組む際の見方・考え方を提示しており、生徒が課題について深く学べるよう工夫されている。 ・単元ごとに「確認」「表現」という、1単位時間で学習した内容を自分の言葉でまとめられる呼びかけがある。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各編の末に「まとめとふり返り」のページが設定されており、年表や地図、表を使って、授業で学んだことを理解確認できる構成になっている。 ・「でかけよう！地域調べ」というページでは、その編で舞台となっている地域について特集が組まれており、様々な視点から歴史を考えるために、地図を見たり実地調査をしたりする際の注意点等が記載されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・単元ごとにある「表現」の項目では、学んだことを自分の言葉でまとめたり、話し合ったりする問いが示されている。 ・生徒がよりよい未来を考えるにあたって、先人がどのような課題にぶつかり、その解決に向けて取り組んできたのかを学ぶことが出来るコラムや特設ページを設けている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・章の初めに2つの視覚的資料を対にする形で記載し、それらを比較して読み取ることで、次の学習への関心が高められる工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文には「UDフォント」を使用し、難解な語句や特殊な読み方だけでなく、漢字の読みが苦手な子でも読めるよう、約半分の漢字に振り仮名がついている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	<b>新しい歴史教科書</b>		225 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自由社</span>
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各時代の導入では、小学校の振り返りから時代を概観し、その時代を象徴するような資料を示していて、学習の見通しを持てるような工夫がされている。 ・「人物を通して時代をとらえる」では生徒が人物の伝記を作ることなど人物を通して歴史を捉えられる工夫がなされている。	
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・「調べ学習のページ」では、各単元で学習した内容をさらに深められる資料があり、思考の広がりを持つことができる。 ・「時代の特徴を考えるページ」では、「ミニ辞典の作成」や「ひとこと作文」を設け、生徒の深い思考を促すような工夫がされている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・見開きごとに、学習した知識を活用する「チャレンジ」が設けられ、学んだ内容を整理できるような工夫がされている。また、「対話とまとめ図のページ」では、相互の関連や現在のつながり等に着目し、歴史的事象に対する思考力・判断力・表現力を深める工夫がなされている。 ・章末には、時代や人物を比較し、「ひとこと作文」により、時代の特徴をつかむなど、学習を積み重ねて課題追及ができるような工夫がされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・人物コラムが多数掲載され、人物を通して歴史を捉えさせる工夫がされている。 ・地理や公民の学習と関連が深い内容には、関連マークがつけられ、関連を意識して学べるように工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・見開きの上部に学習の中心となる資料が写真等で大きく掲載されている。また、資料に見開きで通し番号が付けられている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・見開きの見出し、資料名、重要語句は太字で表記され、資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	新しい日本の歴史		227 育鵬社
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・節ごとに設定されている課題に対する結論をまとめていくことで、最終的にその章の課題に対する結論を導くことができる構成になっている。 ・各章のはじめに、その章で学習する時代の大きな流れをとらえるページがあり、「見通し」を持って、学習できるよう工夫がされている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・節ごとに「歴史にズームイン」というページが設けられており、学習内容をより深めるための解説が示されている。 ・別の視点からの見方を示すための資料や情報（美術的視点や医学的視点など）があり、生徒自身の思考を広げ、深めることができるような工夫がされている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書全体を通して、問題解決型の学習を実現する構成となっている。1時間の授業や単元の流れで、導入資料、学習課題によって「課題をつかむ」本文、資料やコラムから「課題について調べる」確認、「課題についてまとめる・表現する」探求という流れが示されており、主体的・対話的な学びを通して学習の定着が図れるような構成となっている。 ・見開きに「学習課題」に対応し、基礎的・基本的な内容の学習を確認する「確認」、学習内容を参考に説明する「探究」を設けて、学習内容の確実な定着を図ることができるよう工夫がなされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「TRY」というページでは、グループで話し合ったり、調べたりして、学ぶ構成となっており、生徒同士が対話し、言語活動を活発に行い、一人では養うことのできない問題発見・解決能力の視点を身につけることができるよう工夫されている。 ・全体で33か所「資料活用」を設け、歴史学習に必要な情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする資料活用能力を育成できるよう工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・二次元コードを活用し、学習内容を視覚的に確認することができ、学習意欲の向上につながる工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・図番資料には、見開きごとに通し番号を付け、本文の対応する箇所に番号を表示するなどして、生徒が確認しやすいように工夫されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">ともに学ぶ人間の歴史</h2>		229 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学び舎</span>
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・指導的な人物の紹介だけではなく、様々な分野・階層の人々の生活や社会的な業績を叙述し、人々の生き方を学べるよう工夫されている。 ・「章の扉ページ」では、北極を中心とする世界地図を描いており、その時代の各地の様子を表す写真や絵を配置して、生徒の興味関心を引き出すように工夫されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「章や部のまとめ」では、絵画資料を読み取らせる活動やインタビューをして記事にまとめる活動を設けるなど、時代の特色に沿った表現活動を設けて、深い思考につながるよう工夫がされている。 ・本文中の太字をなくし、生徒が自ら大事なことを見つけ出し、主体的に学べるように工夫されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・章ごとに学習のふりかえり、まとめというページが設けられており、知識・技能の問題（年表・地図・グラフの読み取り）、思考・判断・表現の問題（文章で記述する説明問題）など多様な設問を用意し、学んだ知識を活用できるよう工夫している。 ・現代史を充実させ、歴史を今日の課題と結びつけ、よりよい社会の実現に向けて考え、公民学習につなげられるように工夫している。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・歴史的出来事を4コマ漫画でまとめる、歴史的人物にインタビューしたらどのように答えるかなど、言語活動を行うことができるページが掲載されている。 ・多彩な地図、グラフ、側注により、さまざまな面から考えを深められるよう工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・歴史を体験するというページが設けられており、さまざまな体験学習（火おこし体験・博物館の調べ学習）が紹介されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・文章表現や漢字の使用・ルビふりなど、想定される学習学年に即して編集されている。 ・各ページの用語解説が、そのページに掲載されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

書名 項目	<b>国史教科書</b>	236 令書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各時代の導入では、「政治・外交・文化・産業」の問いを示し、時代の特色を考えていく構成になっている。 ・1単位時間が、それぞれの単元により2～6ページとなっていて、文章での説明が主となり、学習課題、本文、文献史料で構成されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「考えよう」が定期的に設けられており、問を設定し、ヒントも記載することで、生徒間の対話を通じ、課題をより深く考えることができる工夫がされている。 ・巻末資料として、各時代の地図がまとめて掲載されているので、国の移り変わりを、深く理解することができるような工夫がされている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・章の最後にまとめのページがあり、記述問題・選択問題・並べ替え問題にバランスよく取り組むことができる。文章を作成する問を設定することで、時代区分の特色を表現できるように工夫されている。 ・ディスカッションを促すページが設定されており、生徒同士が意見を交わし、学びを深めることができる構成となっている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「考えよう」というコーナーが定期的に設けられており、話し合いの形をとれば、生徒同士の考えを伝えあう時間を設けることができ、言語活動を充実させることができるような工夫がされている。 ・1単位時間ごとにコラムや文献史料が掲載されており、探究的な学習がしやすい工夫がされている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・挿絵が、現代の漫画風の絵になっているので、興味を引くことができるような工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文は敬体で記され、重要語句は太字で表記されている。 ・縦書きを採用しているため、読書をするような感覚で歴史を主観的に学べる一冊の本としての側面も持っている。	